

2022 年度実施概要

学校名

羅臼町立春松小学校

採択活動名

海に親しみ、海と人との関わりを学ぼう

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

| 単元名 | 学年 | 教科 |
|-------------------------|-----|-----|
| 1. きせつといきものとのなかよし | 1 年 | 知床学 |
| 2. めざせ、らうす いきものはかせ | 2 年 | 知床学 |
| 3. 発見！羅臼の良いところすごいところ | 3 年 | 知床学 |
| 4. 羅臼のいいところ再発見！ | 4 年 | 知床学 |
| 5. 知床の自然を守る～意見文を書こう！ | 5 年 | 知床学 |
| 6. 羅臼町を津波から守るプレゼンをつくろう | 6 年 | 知床学 |
| 7. より良い町づくり～わたしたちができること | 6 年 | 知床学 |

取り組みの概要

本校は、世界自然遺産に登録された知床半島に立地し、海を含め豊かな自然に囲まれた環境のもと教育活動を展開した。特に、「知床学（海洋教育）」を中心として、総合的な学習の時間や生活科と関連付けた教科横断的な指導計画に基づき、豊かな自然、動植物、水産業、海を活用した観光など郷土の特性を学ぶ教育活動を行うことで、ふるさとに対しての誇りと愛着を育み、郷土の発展に役立つ社会人となるための資質・能力を育むことを目指し学習活動を実施した。

実施内容として、

■ 1・2年生 【知床学（海洋教育）「めざせいきものはかせ」】

羅臼町郷土資料館周辺の前庭や裏山、前浜を活動場所として、実際に川に入って生き物を探したり、虫を捕まえたりするなどの活動を通して、自然の素晴らしさや生命の大切さを学ぶ活動を実施した。

■ 2年生 【知床学（海洋教育）】

国語「さけがおおくなるまで」と関連付けながら漁業関係者の協力を得て、サケの稚魚の放流体験をとおして豊かな海を持続する大切さについて学ぶ活動を実施した。



■ 3年生 【知床学（海洋教育）「ふるさと探検隊」】

羅臼町の基幹産業である「漁業の仕事」について調べる社会科の学習と関連付けながら実際に働いている人にインタビューするなど情報収集の方法について学ぶ活動を実施した。

■ 4年生 【知床学（海洋教育）「羅臼の魅力再発見」社会「地域で受けつがれてきたのもの」】

羅臼の魅力について話し合ったり、社会「地域で受けつがれてきたのもの」と関連付けながら地域や観光客からアンケート調査などの学習をとおして学んだことを羅臼の魅力としてユネスコスクール発表会で

発信した。

■ 5 年生【知床学（海洋教育）「自然とともに生きる」】

漁業協同組合、地元の漁業者などを講師に招き、昆布に関する学習、サケ（鮭）学習をロープワーク（漁の方法）などの体験学習を通して学ぶ活動を実施するとともに国語「自然とともに生きる」と関連付けながら知床の自然の価値を理解し、将来にわたり知床の自然の関わり方について考える学習を実施した。

■ 6 年生【知床学（海洋教育）自分の考えを発信しよう】



漁師をはじめとした水産業はもとより、様々な職種の職業人を講師に招き、仕事に関する講話や児童との対話を通して、身のまわりの仕事や環境への関心を高める学習を実施した。

また、2月に行われた「まちづくり提案会」では、これまでの海洋教育で学んだことを踏まえ、自分たちの考えを保護者や地域の方々に発信した。

■ 5・6 年生【地域学習交流（沖縄県竹富町立上原小学校との交流）】

竹富町立上原小学校の5・6年生とオンラインで交流を行った。自分たちの住んでいるところの「産業」や「自然」などについて伝え合い、比較することでふるさと羅臼についての理解を深めた。

成果と課題

多様な他者と児童が様々な体験を通じた学習を展開することにより、ふるさと羅臼をより深く理解し、郷土に対する誇りや愛着を持ち、さらには未来の羅臼の発展に貢献したいという心を育むことができた。

活動中の写真

デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。

（本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません）